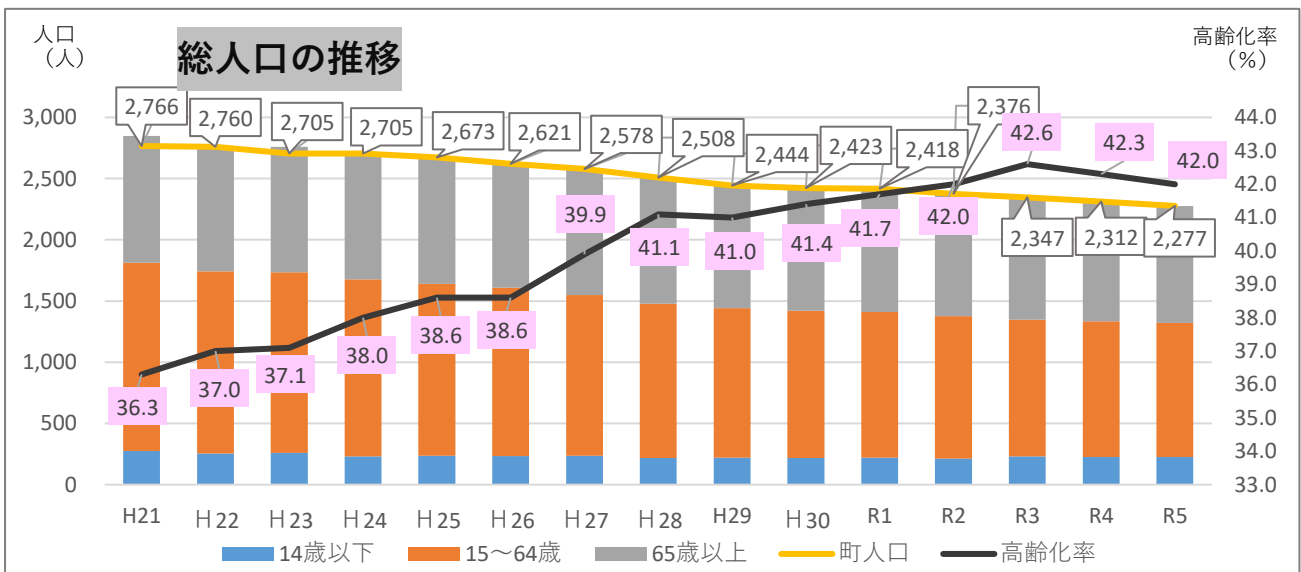


第2章 秩父別町を取り巻く状況

1. 秩父別町の人口と将来推計

本町の総人口は、平成25年から令和5年の10年間で396人減少し、毎年微減しています。しかし、14歳以下の人口は平成24年頃から変化がなく、子育て支援や移住定住対策等の効果で若い世代の人口減にブレーキがかかっています。

年齢階層別人口構成では15歳から64歳の生産年齢人口は減少しています。一方で65歳以上の高齢者の人口に大きな変化はみられません。高齢化率は微増していたものの、令和3年の42.6%をピークに微減しています。

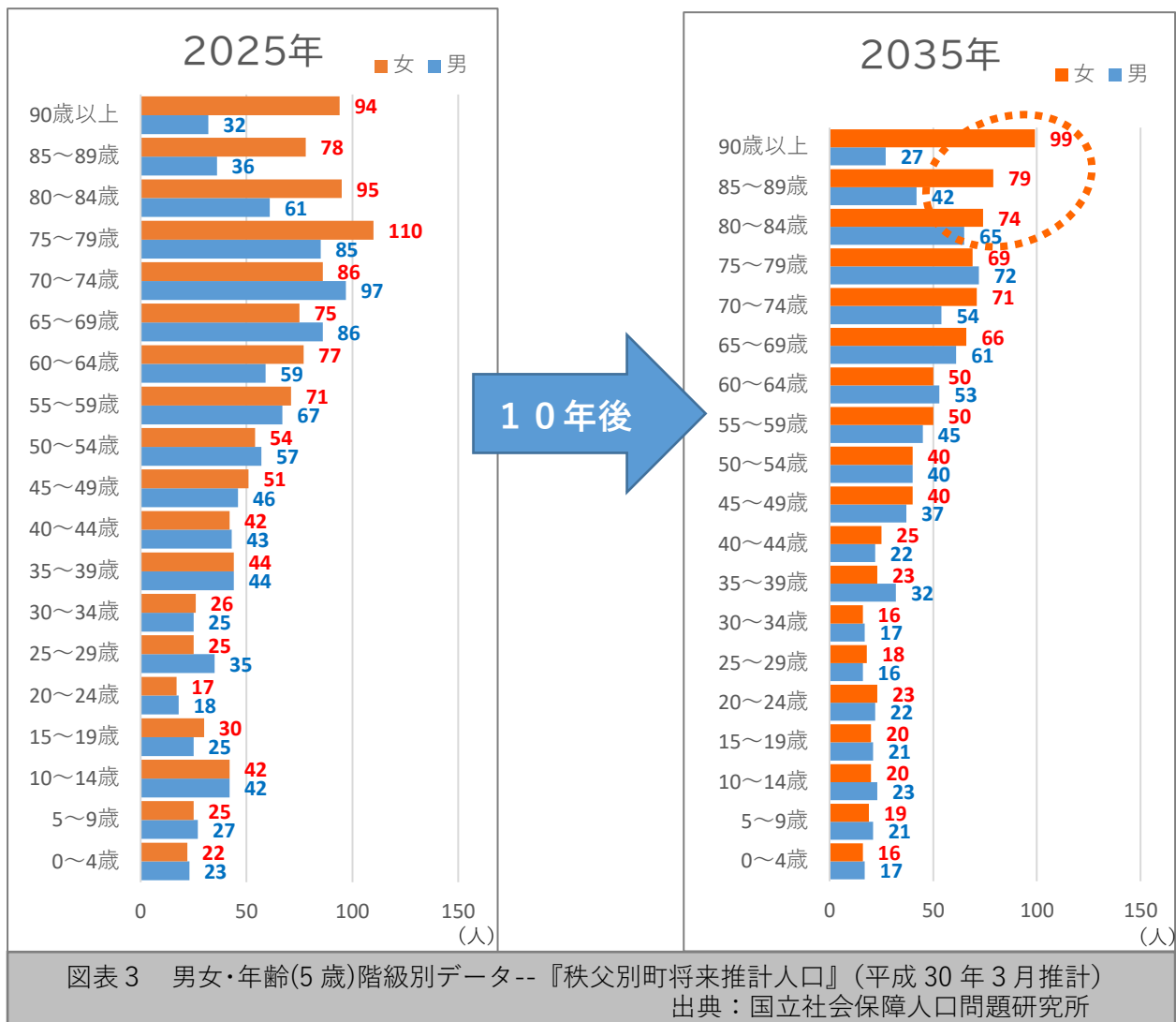


図表1 住民基本台帳 (H21~R5) 住民課総合窓口

		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年			2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
男性	総数	1177	1032	908	795	987	589	499	女性	総数	1336	1195	1064	937	818	710	613
	90歳以上	20	25	32	28	27	29	29		90歳以上	65	79	94	97	99	106	97
	85~89歳	45	56	36	38	42	42	37		85~89歳	81	92	78	76	79	60	51
	80~84歳	94	60	61	66	65	57	37		80~84歳	120	100	95	98	74	62	62
	75~79歳	79	80	85	83	72	47	52		75~79歳	114	108	110	83	69	69	61
	70~74歳	95	99	97	83	54	60	49		70~74歳	114	115	86	72	71	63	47
	65~69歳	103	100	86	55	61	50	41		65~69歳	121	90	75	75	66	49	47
	60~64歳	107	91	59	65	53	43	37		60~64歳	93	77	77	68	50	48	37
	55~59歳	95	61	67	55	45	38	36		55~59歳	81	81	71	53	50	39	39
	50~54歳	64	70	57	47	40	38	20		50~54歳	82	72	54	51	40	40	23
	45~49歳	70	57	46	40	37	20	27		45~49歳	72	54	51	39	40	23	21
	40~44歳	62	50	43	40	22	30	15		40~44歳	57	54	42	42	25	22	14
	35~39歳	55	47	44	24	32	16	15		35~39歳	56	43	44	25	23	15	17
	30~34歳	48	45	25	33	17	15	20		30~34歳	45	45	26	24	16	18	21
	25~29歳	48	26	35	18	16	21	14		25~29歳	50	27	25	16	18	21	12
	20~24歳	27	37	18	17	22	14	12		20~24歳	28	26	17	19	23	12	11
15~19歳	54	27	25	33	21	18	16	15~19歳	41	26	30	36	20	17	15		
10~14歳	35	32	42	27	23	21	17	10~14歳	31	36	42	23	20	18	15		
5~9歳	32	42	27	23	21	17	14	5~9歳	38	45	25	21	19	15	12		
0~4歳	44	27	23	20	17	13	11	0~4歳	47	25	22	19	16	13	11		

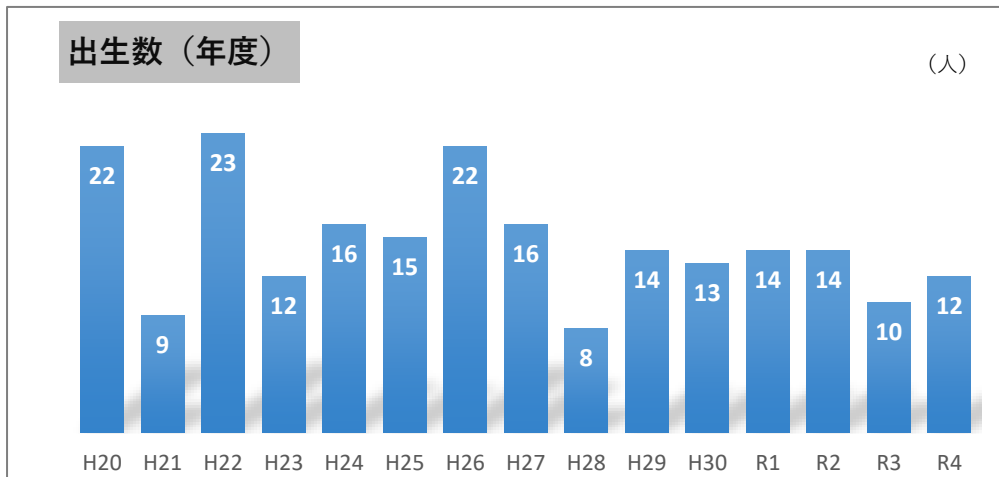
図表2 男女・年齢(5歳)階級別データ『秩父別町将来推計人口』(平成30年3月推計)
出典：国立社会保障人口問題研究所

人口の将来推計では、2035年には人口が微減するものの人口構成は大きく変わらず、80歳以上の女性が多い状況です。介護の状態を予防するには現在の**前期高齢者の健康維持がポイント**のひとつとなります。

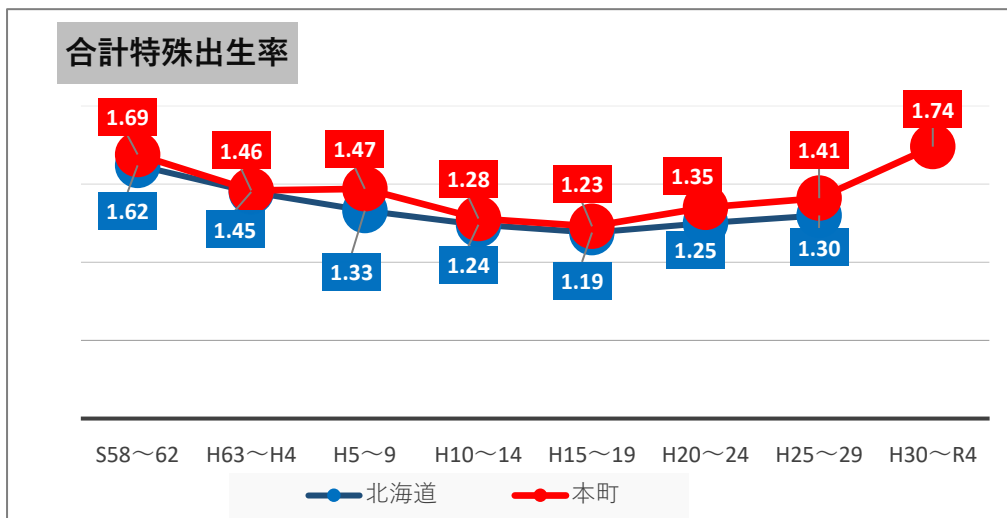


2. 出生の状況

本町の出生数は平成 21 年と平成 28 年に一桁となりましたが、その後は毎年 10～15 人で推移しています。また、一人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率では平成 15～19 年までは低下傾向にありましたが平成 20 年以降は上昇傾向であり、本町は北海道よりもやや高くなっています。



図表 4 住民基本台帳（H20～R4）住民課総合窓口

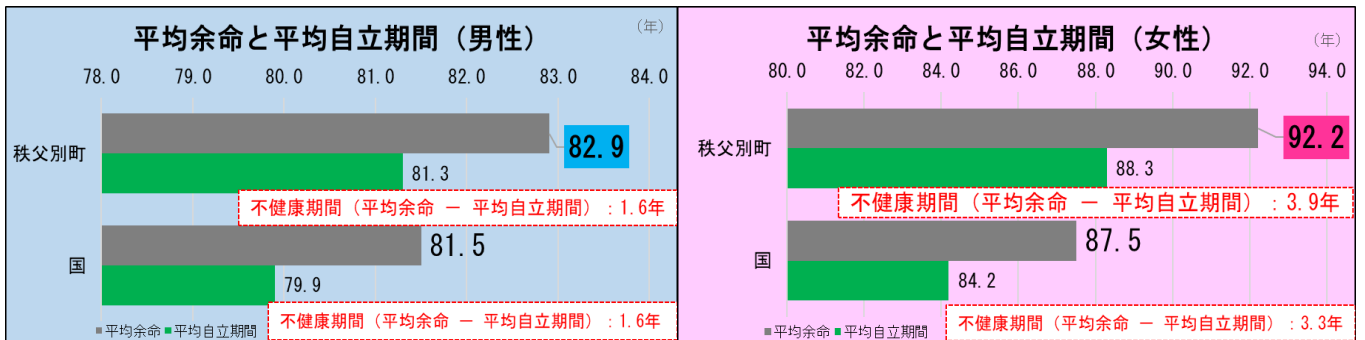


図表 5 政府の人口動態（e-stat）
人口動態保健所・市町村別統計

3. 平均余命・平均自立期間と死亡の状況

男性の平均余命は 82.9 歳で国よりも 1.4 年長く、女性は 92.2 歳で国よりも 4.7 年長いです。また、平均自立期間は男性が 81.3 歳で国よりも 1.4 年長く、女性は 88.3 歳で国よりも 4.1 年長いです。不健康期間は、男性 1.6 年、女性 3.9 年で国とは大差がありません。

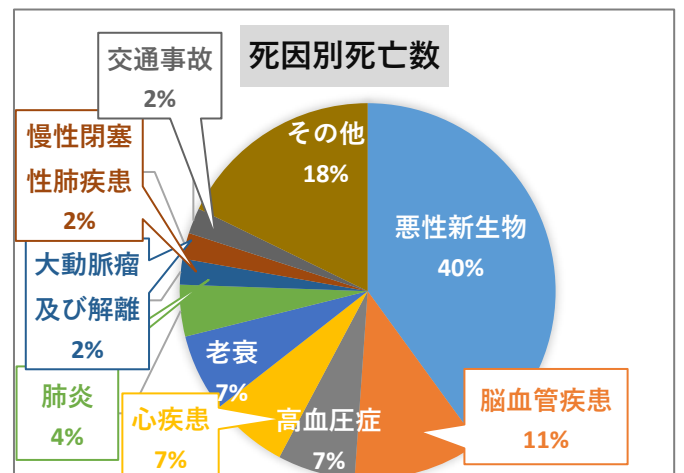
女性は男性よりも不健康期間が長く、平均で約 4 年間程度は治療・介護等を要する状況です。男女ともに元気な後期高齢期に過ごせるように前期高齢期からの健康維持が重要です。



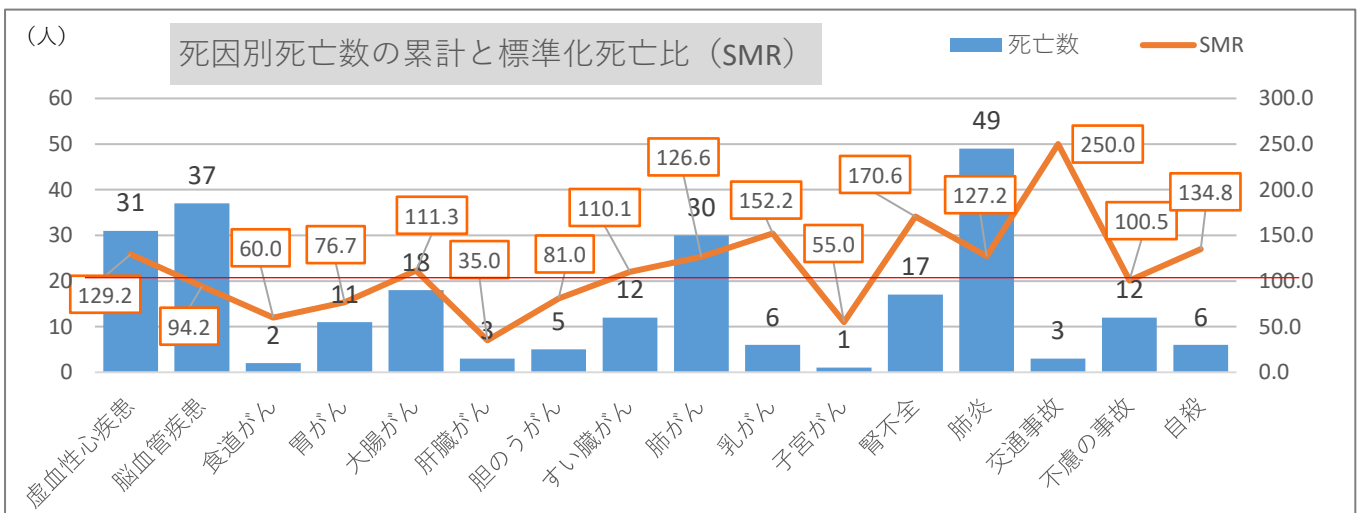
図表 6 KDB Expander の一体的実施分析データ (R3)

死因別死亡数は単年度では変動があり統計としては判断が難しいですが、令和 3 年度では、悪性新生物（がん）が最も多く、次いで脳血管疾患、高血圧症、心疾患の順となっています。

死因別死亡数の累積では肺炎、虚血性心疾患、脳血管疾患が多いです。標準化死亡比 (SMR) では、交通事故、腎不全が高くなっています。



図表 7 厚生労働省 人口動態調査 (R3)



図表 8 公益財団法人北海道健康づくり財団統計データ (H25~R4)

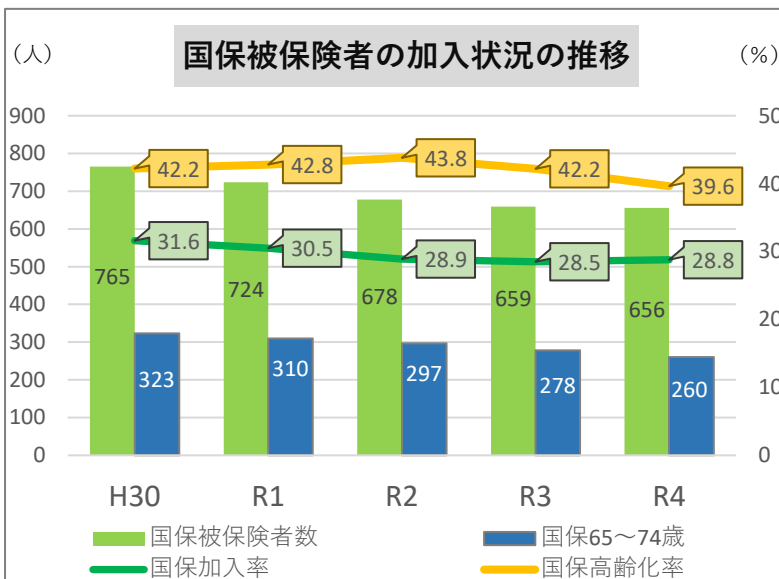
4. 国保加入者その他の医療保険の加入状況

国保加入者、国保加入率ともに微減しています。国保加入者における65～74歳（前期高齢者）の占める割合は令和2年度をピークに微減傾向にあります。

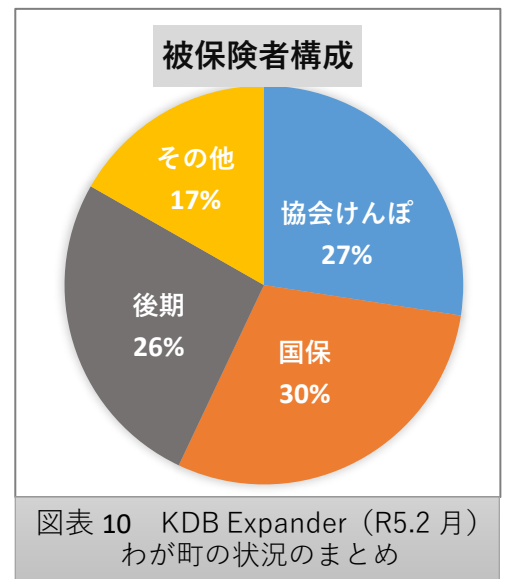
国保の特定健診受診率は新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり令和2年度までは減少傾向にありましたが、令和3年度には若干の回復がみられています。

国保以外の医療保険では協会けんぽと後期高齢者保険が半数を占めています。

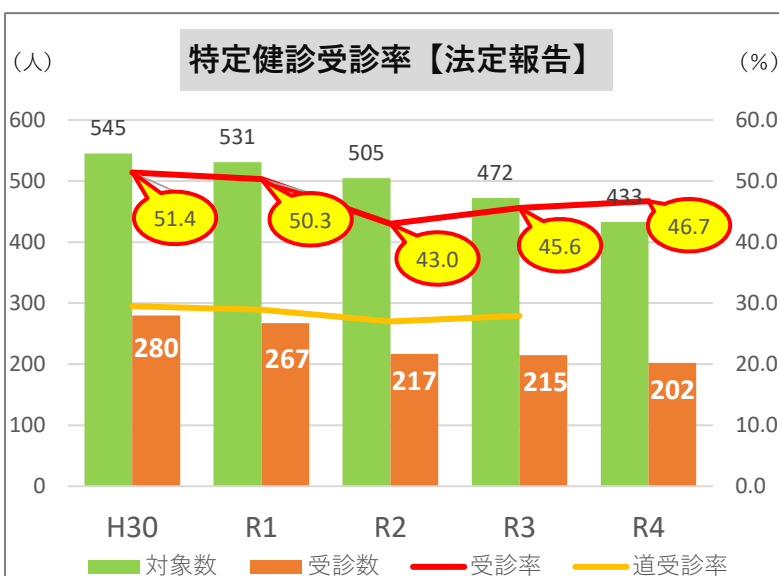
国保の分析状況については、令和5年度2月作成の「秩父別町第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画書」を参照とし、本計画では省略します。



図表9 住民基本台帳（各年3月31日時点）
KDB 帳票 S21-006 被保険者構成（H30からR4の年次）



図表10 KDB Expander (R5.2月) わが町の状況のまとめ

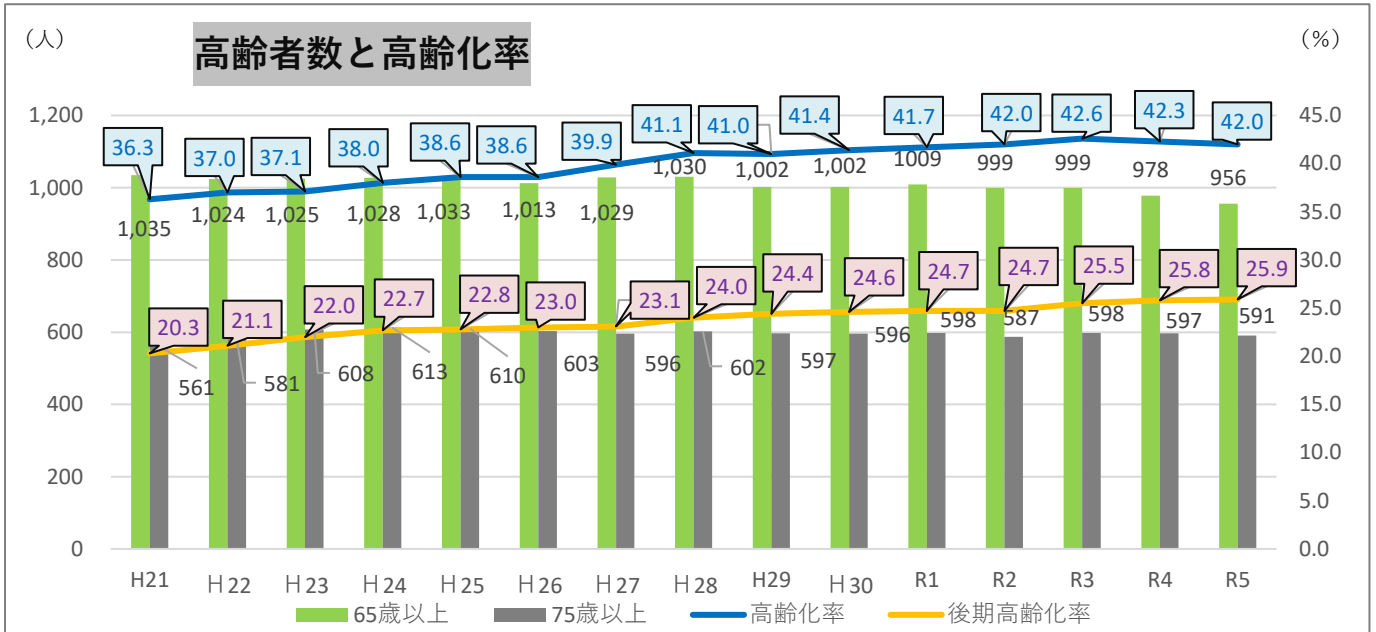


図表11 公益社団法人 国民健康保険中央会
市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告書

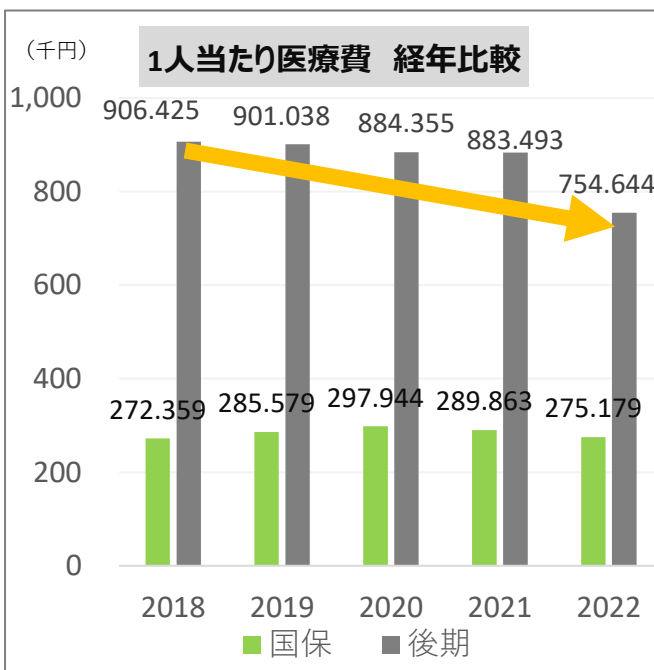
5. 後期高齢者の状況

高齢化率は微増していたものの、令和3年の42.6%をピークに微減しています。75歳以上の後期高齢化率はゆるやかに高く、令和5年度では25.9%で町民の4人に1人が後期高齢者です。

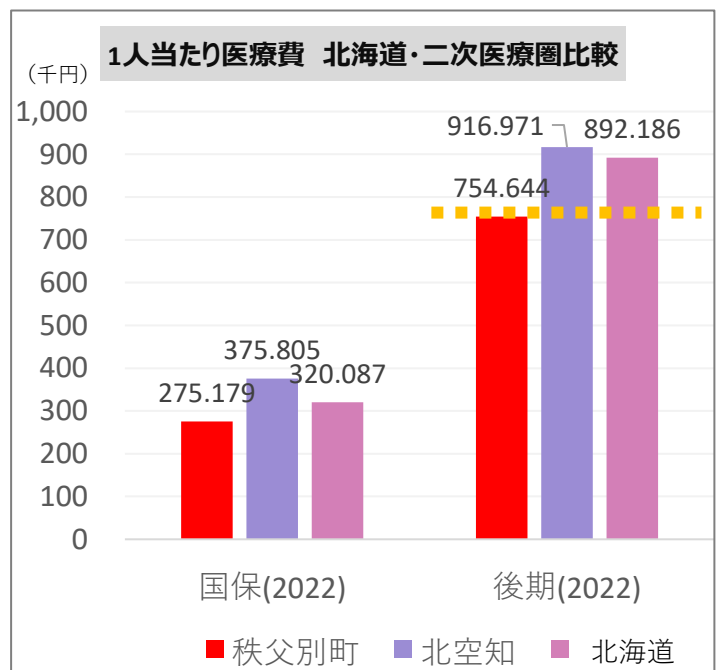
1人当たりの医療費では後期高齢者保険が国保の3倍ですが、年々微減しています。また、北空知や北海道よりも低い状況です。後期高齢者になっても後期高齢者健診の受診継続により重症化予防に努め、医療費の軽減、介護予防、健康寿命の延伸へと推進していくことが重要です。



図表 12 住民基本台帳 (H21～R5) 住民課総合窓口



図表 13 KDB Expander (R5.2月) わが町の状況のまとめ



図表 14 KDB Expander (R5.2月) わが町の状況のまとめ